

俳人協会 福島県支部通信

支部長挨拶
橋本研二



今年度の県支部総会は、新型コロナウイルスの感染状況が増加傾向にあり、紙上での開催となつてしまいました。俳句大会ももちろんです。俳句大会の投句や自選五句集にご協力頂き、誠に有り難うございました。秋に予定しておりました吟行会も中止せざるをえませんでした。昨年と二年続きです。朝日新聞によりますと、下記のような数値が報道されました。ウイルスに対する真摯な生き方が、今日の数値に現れているようです。このような状態で行けば、来年度の県支部の行事は、予定通り実行出来るのではないかと考えられます。しかし、生活はしばらくの間、今まで通り、マスク、手洗い、うがい等を実行して、インフルエンザの予防接種をするなどして、健康で希望の多き新年を迎えられますようご祈念申し上げます。総会等での再会を楽しみにしております。

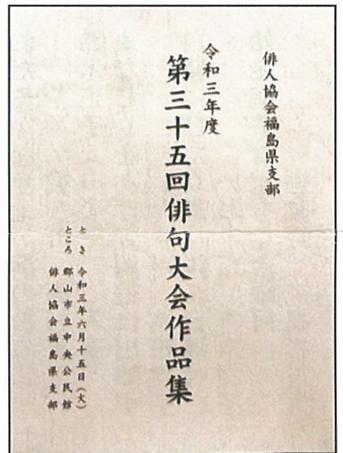
第8号
発行人:橋本研二
俳人協会
福島県支部

新型コロナウイルスの感染者等 朝日新聞

年月日	感染者累計	当日感染増加数	死者累計	当日死者増加数	国別
2020/11/22	13万3257	2168	1988	7	日本
2021/11/22	172万6382	50	1万8349	2	
2020/11/22	5812万8254	58万4862	138万0636	5362	世界全体
2021/11/22	2億5757万0349	38万0551	515万1177	4322	

令和三年度 役員会及び総会 第35回俳句大会・講演会

令和3年度総会、第35回俳句大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、前年度同様に参集方式での開催を中止とし、紙上大会とした。



総会については、資料を全会員に配付し、審議事項に関しては、支部長の裁量に委ねることとした。俳句大会の投句者は、77名。投句数は、484句で、講師特選賞三句と選者選高得点句賞20句を表彰した。公益社団法人俳人協会評議員坂本宮尾先生による講演会についても中止となったのは残念である。俳句大会表彰句及び地域代表選者特選句は、次の通り。

【講師坂本宮尾先生特選賞三句】

置くやうに夫の書斎へ福の豆
いわき市 古市文子
鞆を立ち漕ぎて夢語り出す
福島市 佐藤和子
ブルーシート羽搏つ天窓冴返る
福島市 渡部良子

【選者選高得点賞 20句】

初鯉躍る百匹に潮打ちて
いわき市 古市文子
鞆を立ち漕ぎて夢語り出す
福島市 佐藤和子
看護師はいつも小走り風光る
会津坂下町 荒木幸子
昭和史は昨日の如しみどりの日
郡山市 伊藤えき
噂や胸にまあるく赤子抱き
郡山市 村越知枝
一行の霜夜のメール「帰りたい」
福島市 渡部良子

プレハブの校舎を閉じて卒業す
会津若松市 武藤主明
陽炎の野をよく噛んで羊たち
郡山市 上石みち子
踏青の子のたのもしきふくらばき
石川町 根本世津
こまかけて稚魚放つ子らあたたかし
三春町 宗像眞知子
春の地震耳底にある怒涛音
福島市 久保鞆鼓
何か声掛けてやりたし葱坊主
福島市 土田敬三
揚雲雀石屋は肩で鑿を押す
三春町 佐久間秀男
陽炎や彼方に原発廃炉棟
田村市 橋本研二
マスクしてマスクの人を恐れをり
南相馬市 西内正浩
代々の釘あり注連を飾りけり
郡山市 橋本 明
春耕や腰手拭の暮れのころ
矢吹町 藤田杜与
綿虫やかかつて線路のありし土手
郡山市 伊藤真知子
夜ざくらや昔は夢の電源地
南相馬市 宮本みさ子
生まれたる仔牛に初乳春きざす
会津坂下町 佐藤耐子

会員から投句頂いた句を、名前を伏せて、選者の先生方に投票していただき、それを集計した結果が、右の「選者選高得点賞」20句である。左記は、ご協力いただいた選者の先生方である。

講師選者 坂本 宮尾
飯塚恒夫 猪狩行々子 石橋林石
江藤文子 小沢比呂子 久保鞆鼓
甲田雅子 小林雪柳 佐久間晃祥
鈴木まゆ 高杉正生 西内正浩
西山逢美 納谷一光 橋本研二
葉貫琢良 藤田杜与 古市文子
武藤主明 室井津与志 横山節哉
渡邊三三子 (敬称略)

〈令和二年作品〉
『会員自選五句集』
発刊



毎年発行している「会員自選五句集」、今年は、63名の参加をいただいた。ご存知のように、前年度に詠んだ句の中から、印象に残った五句を選んで、応募いただくものである。二月に募集をし、六月に皆さんへお届けすることができた。

令和四年度 役員会及び総会 第36回俳句大会・講演会

十一月開催の事務局会議にて、令和4年度も、例年通り進めることと承認された。

・開催案内発送 令和4年2月
・俳句大会投句開始 2月
・俳句大会投句締切 4月
・応募作品の選句 5月
・役員会及び総会
第36回俳句大会・講演会
開催場所・郡山 6月下旬
現時点では、新型コロナウイルス感染者が少ない為、参集方式での開催を目指す。その後は、感染者状況に応じて判断する。

令和三年度 (公社)俳人協会第32回 東北俳句大会岩手大会

主催・公益社団法人俳人協会
主管・岩手県俳人協会

令和3年9月に開催の予定であつた公益社団法人俳人協会創立60周年記念の第32回東北俳句大会・岩手大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、紙上大会として実施され、応募作品集がまとめられて、配付された。東北各県選者として、福島県支部からは、橋本研二支部長、横山節哉副支部長、古市文子幹事長が選句にあたった。当支部会員関係の入賞と入選は、次の通り。

☆大会賞

紙魚走る我が青春の夫の文

いわき市 古市文子

ペン牝牝のすつかり消えて紫蘇を揉む

会津若松市 武藤主明

☆本部選者選大会賞・入選

○片山由美子 入選

翻る祢宜の袴や青嵐

郡山市 斎藤万亀子

改札を出るや倭武多の太鼓鳴る

いわき市 古市文子

母亡くてはまなすの実の赤々と

須賀川市 菅野潤子

ペン牝牝のすつかり消えて紫蘇を揉む

会津若松市 武藤主明

○小島 健 大会賞

紙魚走る我が青春の夫の文

いわき市 古市文子

○同 入選

競泳の先頭をくるお寺の子

いわき市 古市文子

夏草や阿弓流為連行されし徑

田村市 橋本研二

○西村和子 大会賞

ペン牝牝のすつかり消えて紫蘇を揉む

会津若松市 武藤主明

○同 入選

改札を出るや倭武多の太鼓鳴る

いわき市 古市文子

子供らの足音うれしチュウリップ

南相馬市 甲田雅子

○仲村青彦 入選

三・一・一あの日には雀あなかつた

小野町 佐藤安憲

夫の墓おぼるるばかり新樹光

いわき市 古市文子

蒼き空一本桜でんと咲き

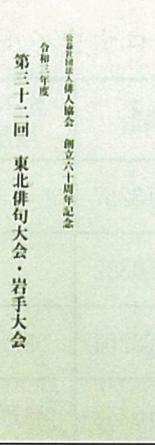
本宮市 伊藤裕通

水子仏と今生の花浴びにけり

南相馬市 石橋林石

慟哭の海をさ迷ふ鯨かな

会津若松市 武藤主明



公益社団法人俳人協会 創立六十周年記念
令和三年度 東北俳句大会・岩手大会
主催 公益社団法人俳人協会
主管 岩手県俳人協会
編集 古市文子
発行 岩手県俳人協会

☆東北各県選者選

○小野寿子(青森県) 入選

館おほき館パン父に昭和の日

福島市 佐藤和子

早池峰の神を崇めて田を植うる

三春町 佐久間晃祥

○土井三乙(青森県) 入選

三・一・一あの日には雀あなかつた

小野町 佐藤安憲

河童への餌とて流す胡瓜かな

棚倉町 高杉正生

○草野力丸(青森県) 特選

汚染水置きざりしまま梅雨に入る

三春町 佐久間秀男

○同 入選

蝮草別の自分になりたき日

郡山市 伊藤真知子

ポケットの名刺昨夜の雪女

矢吹町 納谷一光

駆除されし猪昇天の煙かな

南相馬市 西内正浩

○坂内佳禰(宮城県) 入選

早池峰の神を崇めて田を植うる

三春町 佐久間晃祥

風入れの経の百巻中尊寺

田村市 橋本研二

○小林里子(宮城県) 入選

春野とはぐらんで来る日のひかり

須賀川市 菅野潤子

雲降る「とてちけんじや」の雲降る

田村市 橋本研二

おしら様祭の里曲も冬に入る

本宮市 根本ゆきを

○高宮義治(宮城県) 特選

介護の手まづあためため初仕事

いわき市 古市文子

○山崎雅葉(秋田県) 入選

安達太良は蓋されしまま梅雨深し

郡山市 伊藤えき

つくづくと翁に見ゆる翁草

本宮市 根本ゆきを

阿弓流為の雄叫びびく青山河

南相馬市 西内正浩

○伊藤青砂(秋田県) 入選

介護の手まづあためため初仕事

いわき市 古市文子

あこがれはあこがれのまま啄木忌

須賀川市 菅野潤子

早池峰の神を崇めて田を植うる

三春町 佐久間晃祥

○佐藤景心(秋田県) 入選

競泳の先頭をくるお寺の子

いわき市 古市文子

おだやかな浄土が浜の松の芯

棚倉町 高杉正生

○鈴木正子(山形県) 入選

まなじりをあげ野馬追に出陣す

いわき市 古市文子

白靴にびたり寄り添ふ盲導犬

いわき市 古市文子

始発駅終着駅もなき銀河

棚倉町 高杉正生

○黒坂重政(山形県) 入選

改札を出るや倭武多の太鼓鳴る

いわき市 古市文子

長き夜の旅寝に遠野物語

三春町 佐久間晃祥

○伊藤 寛(山形県) 特選・入選なし

橋本研二(福島県) 特選

山桜風が笛なす殉馬の碑

南相馬市 石橋林石

セシウムのタンク千本春の地震

三春町 佐久間秀男

○同入選

館おほき館パン父に昭和の日

福島市 佐藤和子

蝮草別の自分になりたき日

郡山市 伊藤真知子

武骨手の石屋に一つ桜餅

三春町 佐久間秀男

ペン牝牝のすつかり消えて紫蘇を揉む

会津若松市 武藤主明

○横山節哉(福島県) 入選

介護の手まづあためため初仕事

いわき市 古市文子

○古市文子(福島県) 入選

翻る祢宜の袴や青嵐

郡山市 斎藤万亀子

何事もなき風の日の蕪汁

福島市 佐藤和子

田水張り水面はみ出す岩手山

本宮市 伊藤裕通

汚染水置きざりしまま梅雨に入る

三春町 佐久間秀男

ペン牝牝のすつかり消えて紫蘇を揉む

会津若松市 武藤主明

○白濱一羊(岩手県) 特選

競泳の先頭をくるお寺の子

いわき市 古市文子

○同 入選

介護の手まづあためため初仕事

いわき市 古市文子

○小畑柚流(岩手県) 入選

早池峰の神を崇めて田を植うる

三春町 佐久間晃祥

一合の米研ぐ暮し啄木忌

三春町 佐久間秀男

○小林輝子(岩手県) 入選

真夜の地震やけに煌めく冬の星

福島市 佐藤和子

○馬場吉彦(岩手県) 入選
葎切の戦のごとし衣川
田村市 橋本研二

令和四年度 (公社)俳人協会第33回 東北俳句大会宮城大会

「紙上大会」とのアナウンスがありまして。来春早々、案内が送られて、句の募集があり、9月には作品集が出されるでしょう。

令和五年度 (公社)俳人協会第34回 東北俳句大会福島大会

「福島大会」が、令和5年に予定されています。コロナが沈静化することを祈っています。

- ・開催案内発送 令和5年3月
- ・俳句大会投句開始 3月
- ・俳句大会投句締切 5月
- ・俳句大会入選発表・表彰 9月

事務局より

新型コロナウイルス感染症拡大のため、参集方式での支部行事は、二年連続して中止となりました。現時点では、新しい変異株オミクロン株の心配もありますが、感染拡大の状況は、下火になっていくので、このまま沈静化していくことを祈り、来年度は、令和五年度に予定される東北俳句大会・福島大会を視野に入れながら、平常通りの支部活動ができることを願っています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。